

○考える子「知」 ○やりぬく子「知」「徳」 ○助け合う子「徳」 ○たくましい子「体」「徳」

「心を込めて精一杯」で優しさが連鎖する学校づくり

[重点目標]

＜少人数を活かす授業の創造＞

- ① 1人1台端末の積極的活用
- ② ICT活用を通して「協同的な学び」と「個別最適な学び」の推進
- ③ 複式学級を視野に、少人数集団における効果的な授業づくりと指導者チーム体制の構築

知

＜心の教育の充実＞

- ① 豊かな人間関係づくりと体験活動（異学年交流・ユニット・体験・福祉）
- ② いじめ防止の取り組みの充実
- ③ 個に応じた適切な支援・指導ができる特別支援教育の推進
- ④ 道徳教育の充実と推進

徳

＜健康と安全・強い心＞

- ① 体力・意欲の向上
- ② 強い心の育成「目標」「協力」「役割を果たす」
- ③ 保健指導と安全・防災

体

＜地域の光となれる学校＞

- ① 地域とともにある学校づくり
ふるさと体験学習の充実
- ② 学校運営委員の参画
- ③ ユニットによる校種間連携
学校間授業交流の推進
- ④ 情報発信

地域

[具体的な取組]

○端末使用のスタンダード化を継続
・日々の持ち帰り、課題提出、文房具化活用率市内突出状況を維持

○1人1台端末を活用した効果的授業実践を追究し、職員共有化を図る
・協同的探究学習をさらに発展させ、ICTとの融合を目指す「加古川型スマート探究学習」の追究
・教員のICT活用研修の実施
・教育DX「デジタルトランスフォーメーション」の推進

○複式学級を視野にカリキュラム、指導方法・指導体制（チーム体制）の構築に向けた研修と実践
・全職員がかかわって検証し研修する
・研究成果をリーフレットで配布

○少人数で課題となる人間関係づくりを促すために異学年交流やユニット交流を積極的に推進
・複式学級を視野に異学年授業の充実
・志方西小との授業交流の推進

○未然防止、早期発見、早期対応に向け危機感をもって取り組む生徒指導
・児童・保護者との「信頼関係」構築
・組織対応の体制強化
・居場所のある学級経営
○特別支援教育の一層の充実を図る
・1人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実
・支援を必要とする児童への理解に向けた啓発

○道徳授業を中心に、児童の心に響く指導に努め、道徳的实践力を高める
○「心を込めて精一杯」の精神を土台とした奉仕・感謝・優しさの体得

○体育学習・体育的行事の充実と推進を通して体力・意欲の向上をはかる
・運動会、マラソン大会、プール指導の充実
・「目標」を目指し集団で伸びる力、粘り強く取り組む力の育成
・力を合わず体験・学習の積み上げ

○自覚を育み達成感が味わえる特別活動の推進
・「立場が人を育てる」のもと、役割を担い、果たすことで自信とたくましい心を育む。
・少人数だからこそ、一人ひとりにスポットが当たる機会をつくる

○保健指導、生徒指導、安全指導を通じた規範意識や生活習慣の定着を図る
・親子で学ぶネットトラブル防止講座
・交通安全教室、避難訓練をはじめ、防災教育の充実

○地域の教育力を活用したふるさと学習の充実
環境体験学習・150周年に向けた地域・学校の歴史学習

○学校運営協議会との連携・協働を強化し地域の特色を生かした学校運営を充実させる。
・学校運営委員の学校運営への主体的参画（環境美化・安全・生徒指導）

○ユニット交流の積極的推進。
・直接ふれあえる学年間交流の実施（学校規模適正化の流れを踏まえて）
・西小との定期的な授業交流を通しての集団保障に努める。

○学校情報を保護者・地域に発信
・学校だより・道徳だよりの発行
・ホームページ更新（毎日）
・スクリーン発信

＜教職員の育成・学校業務改善＞

○ミドルリーダーを核とし、OJTや組織としての対応を通して教職員の指導力向上を図る。
複式学級を視野にチーム体制を強化し、全校的視点で協働できる教職員集団をつくる
○タイムマネジメントに対する教職員の意識向上、定時退勤日（毎週水曜日）の徹底

[研究主題]

＜学校施設の更新＞

○教育相談室（旧特支学級）の新設 ○学習スペースの確保（合同授業）
○図書室に「学習情報センター」の機能を加える
（図書活動の充実、図書ボランティア、調べ学習・ICT活用の拠点）

[合言葉]

思考力、判断力、表現力の育成 ～少人数を活かす授業の創造～

Challenge（チャレンジ）・Chance（チャンス）・Change（チェンジ）